

所 管 事 項 調 査 ①

第4次長崎市水産振興計画（素案）について

	ページ
計画策定の主旨	1
計画の位置づけと計画期間	2
計画の体系図	3
計画の成果指標	6
計画策定までのスケジュール	7
第4次長崎市水産振興計画（素案）	別冊
[参考資料]	
持続可能な開発目標（SDGs）と日本の取組	別冊

水産農林部

令和3年9月



## 第4次長崎市水産振興計画策定の主旨

- 長崎市では、上位計画である『長崎市第四次総合計画』をはじめとした全体計画のうち、水産分野の施策をより具体化し、今後の水産業の目指すべき姿とその実現方法を示すため、現行の『第3次長崎市水産振興計画(平成28年度～令和2年度\*)』を策定し、審議会において当該計画の進行管理及び検証等を行いながら、計画推進を行ってきた。

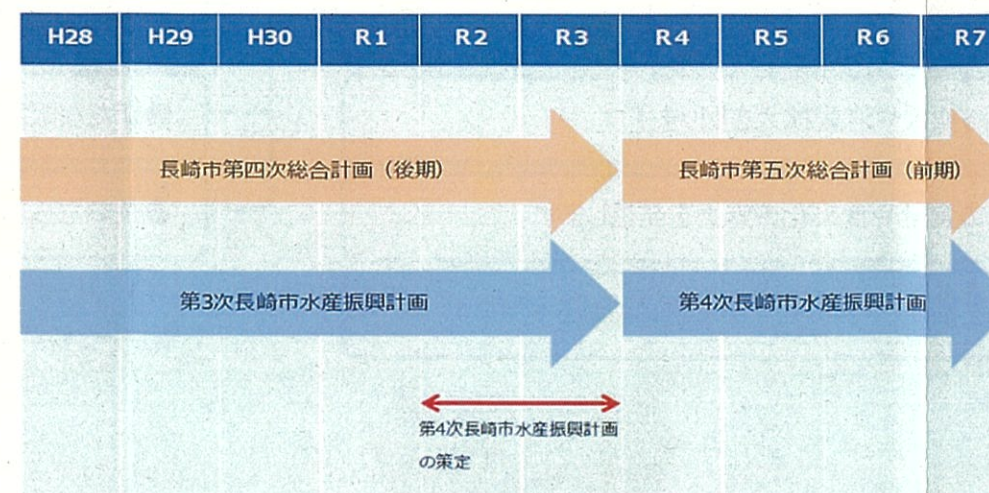
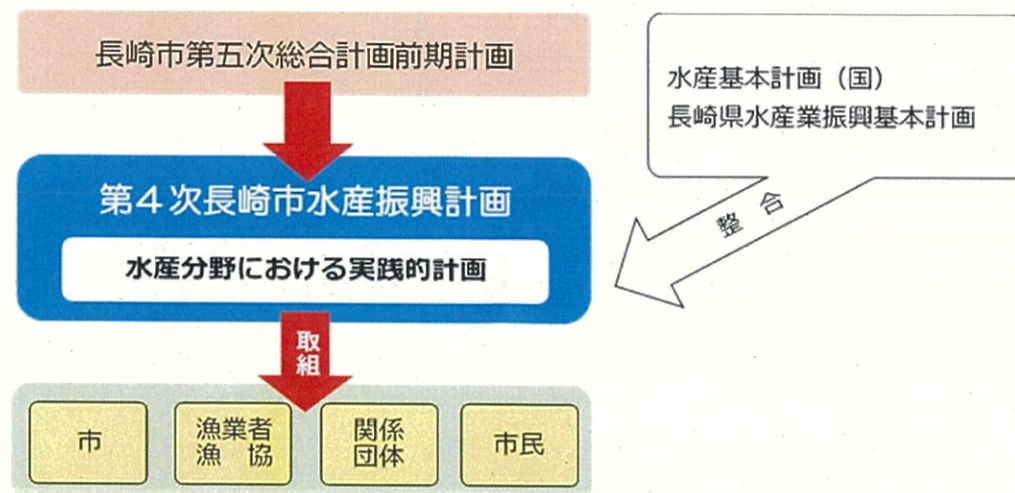
※「長崎市第四次総合計画」に合わせ、計画終期を令和2年度としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「長崎市第四次総合計画」の計画終期が1年延長されたことに伴い、令和3年度まで計画終期を延長した。

- その結果、藻場の回復や漁協等の施設整備・更新が一定図られたが、水産資源の減少や漁業者の高齢化及び担い手不足など、依然として厳しい状況が続いている。
- また、近年の水産業を取り巻く環境は、人口減少の加速化や激甚化する自然災害、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ICTやAI等の活用によるスマート水産業の進展、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた取組の推進など大きく変化している。
- 県において、令和3年3月に、長崎県水産業振興基本計画(令和3年度～令和7年度)が策定され、基本理念を「多様な人材が活躍し、環境変化に強い持続可能な水産業と賑わいのある漁村づくり」とし、重点的に取り組むべき6つの基本目標を掲げている。

### 【長崎県水産業振興基本計画の基本目標】

- ①漁村地域の生産力を支える多様な人材の確保・育成 ②環境変化に強く収益性の高い魅力ある漁業経営体の育成 ③県産水産物の国内外での販売力強化
- ④資源管理の推進による水産資源の持続可能な利用と漁場づくり ⑤養殖業の成長産業化 ⑥多様な人材の活躍による漁村の賑わいや活力創出

- 長崎市においては、これらの状況に加え、令和3年度に現行計画が終期を迎えることから、上位計画である「長崎市第五次総合計画」の策定と併せ、今後の長崎市水産業のあり方と施策の展開を明確にするため、審議会による調査・意見聴取・審議等を行いながら、『第4次長崎市水産振興計画』を策定する。

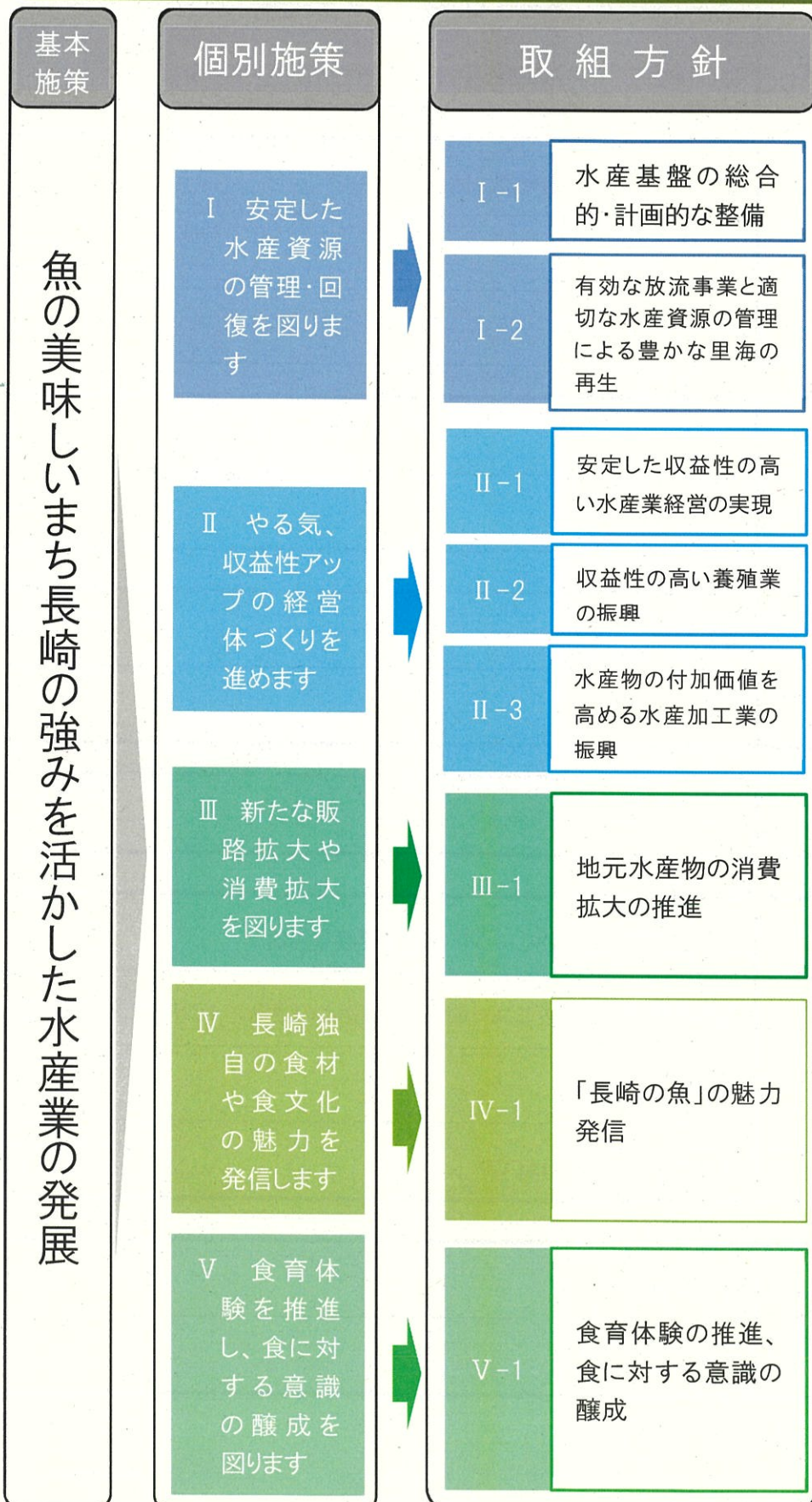


# 第4次長崎市水産振興計画の位置づけと計画期間



第4次長崎市水産振興計画の体系図

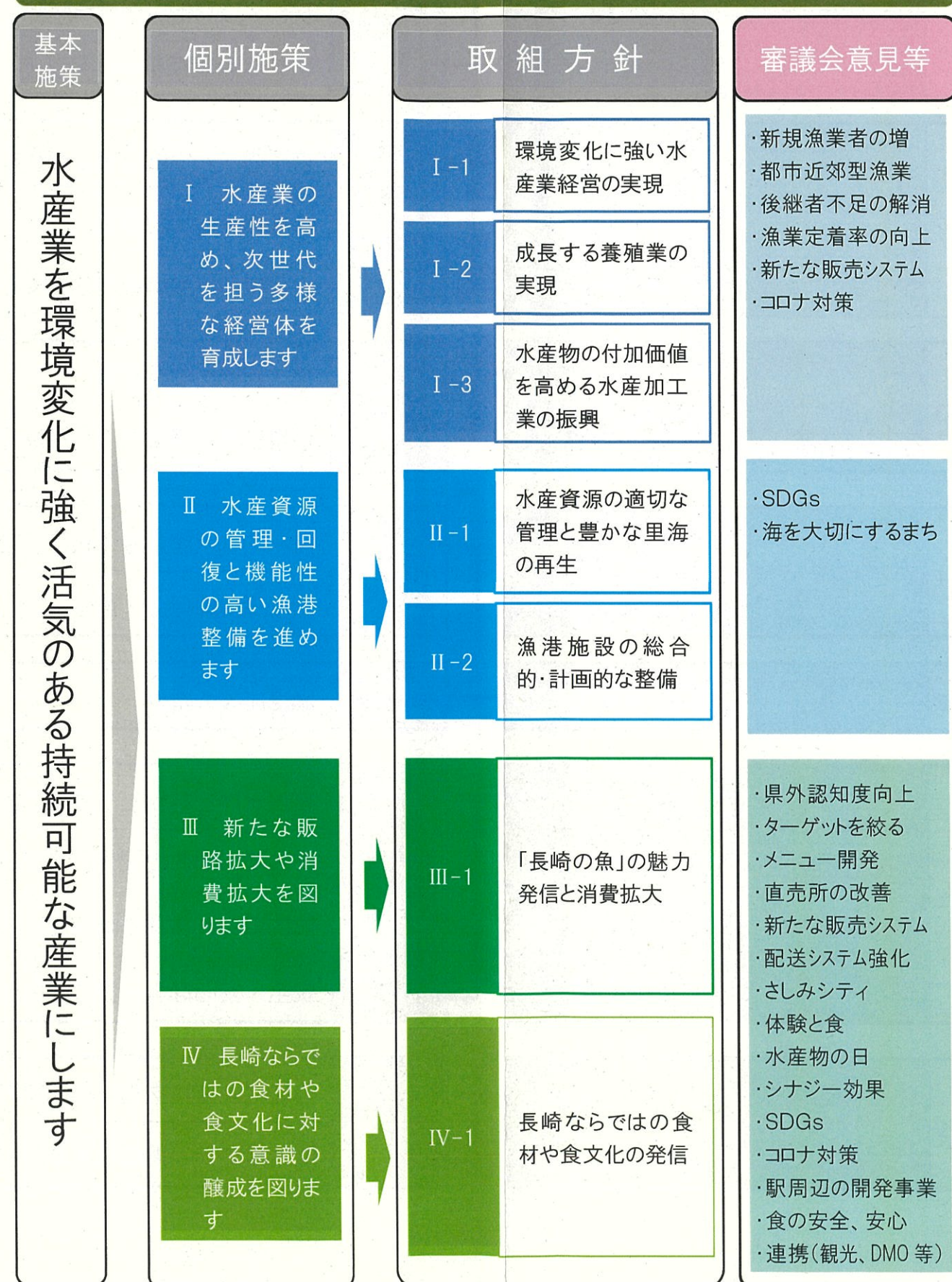
第 3 次



次期計画のキーワード



第 4 次



取組方針		取組	関連する SDG s	キーワード
I-1	環境変化に強い水産業経営の実現	I-1-① 次世代を担う強い経営体づくり	 	<b>スマート水産業</b> 新規漁業者の増、後継者不足の解消、漁業定着率の向上 <b>コロナ対策</b> 、新たな販売システム、 <b>オープンイノベーション</b>
		I-1-② 担い手の育成と雇用の維持		
		I-1-③ 新たな流通販売の展開		
I-2	成長する養殖業の実現	I-2-① 効率的・先進的な養殖業への転換	 	<b>スマート水産業</b> 、 <b>養殖業の成長産業化</b>
		I-2-② 養殖漁場の環境改善		
		I-2-③ 災害に負けない経営体づくり		
I-3	水産物の付加価値を高める水産加工業の振興	I-3-① 加工原料の安定確保	 	<b>コロナ対策</b>
		I-3-② 消費者ニーズに対応した商品開発と販売体制		
II-1	水産資源の適切な管理と豊かな里海の再生	II-1-① 持続的な水産資源の維持・管理	 	新たな <b>資源管理</b> 体制
		II-1-② 漁場環境の保全・再生		
II-2	漁港施設の総合的・計画的な整備	II-2-① 漁港施設の整備	 	
III-1	「長崎の魚」の魅力発信と消費拡大	III-1-① 官民一体となった「長崎の魚」の魅力発信	    	県外認知度向上、さしみシティ、多品種高品質
		III-1-② 「長崎の魚」の観光資源としての顕在化		県外認知度向上、メニュー開発、 <b>DMO との連携</b> 、インバウンド
		III-1-③ 国内における「長崎の魚」の消費拡大		直売所の販売強化
		III-1-④ 安全・安心な水産物の輸出促進		食の安全・安心、 <b>HACCP</b>
IV-1	長崎ならではの食材や食文化の発信	IV-1-① 体験による食文化への理解の推進	  	体験と食
		IV-1-② 多様な主体の参画による食に対する意識の醸成		食卓の日

第3次水産振興計画の体系

第4次水産振興計画の体系

取組方針	取組	取組	取組方針	個別施策	基本 施策	備考		
II-1 安定した収益性の高い水産業経営の実現	II-1-① 強い経営体づくり	I-1-① 次代を担う強い経営体づくり I-1-② 担い手の育成と雇用の維持 I-1-③ 新たな流通販売の展開	I-1 環境変化に強い水産業経営の実現	I 水産業の生産性を高め、次世代を担う多様な経営体を育成します	水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします	取組内容にスマート水産業の導入を追加		
	II-1-② 担い手の育成					取組内容に担い手の確保や就労環境の改善を追加		
	II-1-③ 水産業者の連携強化					各取組において、団体間の情報連携を引き続き実施		
	II-1-④ 水産物の供給体制の強化					ポストコロナを見据え、取組内容に通信販売等の新たな流通経路の構築を追加 オープンイノベーション方式による販売体制づくりの課題解決を追加		
II-2 収益性の高い養殖業の振興	II-2-① 付加価値の高い養殖魚づくり	I-2-① 効率的・先進的な養殖業への転換 I-2-② 養殖漁場の環境改善 I-2-③ 災害に負けない経営体づくり	I-2 成長する養殖業の実現	水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします		取組内容にスマート水産業、陸上養殖の導入を追加		
	II-2-② 養殖漁場の環境保全					自然災害の激甚化に伴い追加		
II-3 水産物の付加価値を高める水産加工業の振興	II-3-① 加工原料の安定確保	I-3-① 加工原料の安定確保 I-3-② 消費者ニーズに対応した商品開発と販売体制	I-3 水産物の付加価値を高める水産加工業の振興			水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします	ポストコロナを見据え、取組内容に通信販売等の導入を追加	
	II-3-② 長崎らしい水産加工品の開発							
I-2 有効な放流事業と適切な水産資源の管理による豊かな里海の再生	I-2-① 漁場環境の保全・再生	II-1-① 持続的な水産資源の維持・管理 II-1-② 漁場環境の保全・再生	II-1 水産資源の適切な管理と豊かな里海の再生				水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします	漁業法の改正に伴うTAC対象魚の拡大により、記載内容を変更
	I-2-② 効果的な水産種苗の放流							取組内容に海洋ゴミに対する対応について追加
	I-2-③ 適切な資源管理の推進							資源管理の取組と併せて取り組むため、水産資源の維持・管理へ統合
I-1 水産基盤の総合的・計画的な整備	I-1-① 漁場の造成	II-2-① 漁港施設の整備	II-2 漁港施設の総合的・計画的な整備		水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします			現在の整備計画に合わせ、記載内容を変更
	I-1-② 漁港施設の整備							資源管理の取組と併せて取り組むため、水産資源の維持・管理へ統合
	I-1-③ 水産種苗生産施設の整備							
III-1 地元水産物の消費拡大の推進	III-1-① 大都市圏を中心とした国内向け販路の拡大	III-1-① 官民一体となった「長崎の魚」の魅力発信 III-1-② 「長崎の魚」の観光資源としての顕在化 III-1-③ 国内における「長崎の魚」の消費拡大 III-1-④ 安全・安心な水産物の輸出促進	III-1 「長崎の魚」の魅力発信と消費拡大					水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします
	III-1-② 安全・安心な水産物の輸出促進			取組内容にDMOとの連携について追加				
	III-1-③ 食(魚)と観光を融合した域外からの誘客			国内の消費拡大として、大都市圏を中心とした国内向け販路の拡大と地産地消を統合				
	III-1-④ 地産地消の推進			食品衛生法の改正により、HACCPの導入が義務化されたため、取組内容をHACCPの取得支援から輸出ニーズを満たす施設整備へ変更				
IV-1 「長崎の魚」の魅力発信	IV-1-① 「長崎の魚」の魅力づくり			水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします				
	IV-1-② 域内における「長崎の魚」のファンづくり					消費拡大に繋がる魅力発信を行うものとして、取組方針 III-1 に統合		
	IV-1-③ 域外に対する「魚の美味しいまち長崎」のPR強化							
V-1 食育体験の推進、食に対する意識の醸成	V-1-① 体験活動を通じた食育の推進	IV-1-① 体験による食文化への理解の推進 IV-1-② 多様な主体の参画による食に対する意識の醸成	IV-1 長崎ならではの食材や食文化の発信			水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします		
	V-1-② 多様な主体の参画による食に対する意識の醸成						食卓の日の継続に加え、取組内容に学校給食による食育と食に関するイベントの開催を追加	
	V-1-③ 地域の特性を活かした体験型交流の推進							

第4次長崎市水産振興計画の成果指標

基本施策		成果指標	基準値	目標値	指標の説明
基本施策	水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします	漁業生産量	48,380 トン (H28~30 年度平均)	50,799 トン (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区内漁業者による各漁港への水揚総量</li> <li>・ 「漁港港勢調査結果」により把握する。</li> <li>・ 基準値から5%増を目標とする。</li> </ul>
		長崎市内で売られている水産物について新鮮さ、品数に満足している市民の割合	82.7% (R2 年度)	82.7% (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内で売られている水産物(新鮮さ・品数)に満足している市民の割合</li> <li>・ 市民意識調査により把握する。</li> <li>・ 直近5年間(H28~R2 年度)の最高値を目標とする。</li> </ul>
		市内産の水産物販売額	58.3 億円 (R 元年度)	60.7 億円 (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内産の水産物販売額</li> <li>・ 市内8つの漁協からの報告(市内8漁協取扱金額)により把握する。</li> <li>・ 過去3年間の最高値(H30 年度)を目標とする。</li> </ul>
		市内産水産物及び加工品購入率	49.2% (R2 年度)	50.7% (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表的な市内水産物及び加工品の市民の購入率</li> <li>・ ながさきの「食」市民意識調査により把握する。</li> <li>・ 直近値から、過去4年間(H29~R2 年度)の平均増加率の毎年度0.3%増を目標とする</li> </ul>
個別施策	水産業の生産性を高め、次世代を担う多様な経営体を育成します	新規漁業就業者数	6 人 (R 元年度)	9 人 (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業に就業した者から離職者を除く人数</li> <li>・ 関係団体への照会により把握する。</li> <li>・ 直近5年間(H27~R 元年度)の平均値を目標とする。</li> </ul>
		平均漁業所得	1,800 千円 (H27~R 元年度平均)	1,944 千円 (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浜の活力再生プランによる漁業所得</li> <li>・ プランの達成状況報告により把握する。</li> <li>・ プランが5年間で所得を10%増させる計画であるため、基準値から8%増を目標とする。</li> </ul>
		機器等の導入件数	20 件 (R2 年度)	30 件 (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水産関係団体等が行う機器等の導入件数</li> <li>・ 事業の実績報告により把握する。</li> <li>・ 基準値から10件増を目標とする。</li> </ul>
		ICT等を活用したスマート水産業の取組件数	1 件 (R2 年度)	3 件 (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマート水産業の取組件数</li> <li>・ 事業の実績報告により把握する。</li> <li>・ 基準値から2件増加させることを目標とする。</li> </ul>
	水産資源の管理・回復と機能性の高い漁港整備を進めます	漁場環境再生活動を行った海域の藻場の被度	43.9% (R 元年度)	44.7% (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水産多面的機能発揮対策支援事業で藻場の再生を行った藻場の被度</li> <li>・ 事業実績により把握する。</li> <li>・ 直近3年間(H29~R 元年度)の最高値を目標とする。</li> </ul>
		漁協取扱漁業生産量	8,739 トン (R 元年度)	8,739 トン (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内8漁協における漁業生産量</li> <li>・ 市内8漁協の地区内水揚量の合計</li> <li>・ 基準値を維持することを目標とする。</li> </ul>
	新たな販路拡大や消費拡大を図ります	市内農水産物直売所の売上額	28.9 億円 (R 元年度)	29.5 億円 (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内農水産物直売所の売上額の合計</li> <li>・ 直売所等への調査により把握する。</li> <li>・ 直近3年間(H28~H30 年度)の最高値を目標とする。</li> </ul>
	長崎ならではの食材や食文化に対する意識の醸成を図ります	市内産水産物の市民認知度	88.2% (R2 年度)	88.2% (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内水産物の市民認知度</li> <li>・ ながさきの「食」市民意識調査により把握する。</li> <li>・ 直近3年間(H30~R2 年度)の最高値を目標とする。</li> </ul>



第4次長崎市水産振興計画策定までのスケジュール

- R3. 5.7 **第1回審議会開催**：体系の検討  
※新型コロナウイルス感染症拡大により中止  
⇒審議会委員へ意見照会
- R3. 7.1 **委員改選**
- R3. 8.5 **第2回審議会開催**：素案の作成
- R3. 9 市議会所管事項説明
- R3. 10 パブリックコメント募集
- R3. 12 **第3回審議会開催**：最終案の検討
- R4. 1 **第4回審議会開催**：最終案の作成
- R4. 2 市長報告
- R4. 3 市議会所管事項調査説明

第4次長崎市水産振興計画策定

